

バイロイト Tips (2019.10 更新)

<滞在スケジュール>

- ホテル滞在なら問題ありませんが、ゲストハウスに滞在する場合は週末の夜にバイロイトに到着するのはお勧めしません。鍵を受け取れないからです。平日の日中に到着する旅程にするのが良いと思います。

<ドイツの鉄道>

- DB Bahn の公式アプリは切符の購入（ハンディチケット）、乗換案内ができるので便利。遅延情報も出てくる。
- フランクフルト空港駅でも購入可能だが、ICE の指定席は購入不可。既に始発駅を出た列車については、座席指定できないらしい。
- ICEに乗ったら、車内のフリーの Wifi に接続すると、DB のサイトが開いて運行状況を確認できます。
- ニュルンベルク中央駅からバイロイト行きの列車に乗る場合、行き先に注意しましょう。複数の行き先の車両が連結してある場合があります。ホームの案内表示や、車両の行き先表示を確認しましょう。

<ニュルンベルグ空港→バイロイト中央駅への行き方>

- DB BAHN の HP で以下の単語を入力すれば、時間やホームの情報が出てくるので、予め調べていくと安心です
 - ✓ Nürnberg Flughafen (ニュルンベルグ空港駅)
 - ✓ Bayreuth Hbf (バイロイト中央駅)
- 空港からニュルンベルグ中央駅までは地下鉄 U2 を利用します（日本ではチケットを買えないため、現地の券売機で購入)
 - ✓ ニュルンベルグ空港駅 Flughafen (空港)
 - ✓ ニュルンベルグ中央駅 Haupt (中央) bahnhof (駅)
 - ✓ ニュルンベルグ中央駅で DB に乗り換える

<バイロイト中央駅→バイロイト大学への行き方>

- 駅前のバス乗り場から、路線番号 316 「Campus」 行きのバスに乗ってください。片道 60 分券は 2.0EURO です。ドイツ語が分からなくとも、他の人に続いて前側の扉から乗り、ドライバーに 2.0EURO 出すと察してくれます。なお、316 は平日の朝夕のみの運行ですので注意してください。BGI から最寄りのバス停は Uni-Verwaltung です。
- 土日や祝日に到着した場合は、バスセンター (ZOH) まで歩いて、「304 Birken Universität」 行きか「326 Campus」 行きのバスに乗ってください。
- 遅い時間に Hbf に着いた場合は、駅前からタクシーを利用すると良いでしょう。慣れているドライバーが多いので、大学のゲストハウスに行きたいと言えば分かってくれます。ただし、深夜は割増料金になるので注意してください。ゲストハウスまでは 10EURO くらいです。時間・距離制なので、所要時間に応じて料金が前後します。
- Google の地図で「Bayreuth Hbf」 → 「Bayerisches Geoinstitut」 で行き方を検索しておくとう良いでしょう。
 - バイロイト中央駅からバスセンターまでは少し歩く
(<http://4travel.jp/travelogue/10719278>)
 - バスセンターの券売機でチケットを購入する。バスの中でも買える。片道 60 分券 (2.0€) で大丈夫。4 枚つづりの回数券 (6.8€) がお得
(<https://www.stadtwerke-bayreuth.de/bus-parken/fahrkarten-preise/>)
(<https://www.stadtwerke-bayreuth.de/bus-parken/buslinien-karten/>)

<大学までのバス路線、大学内のバス停>

http://num.math.uni-bayreuth.de/en/conferences/general/bus_infos/index.php?type=static

バスの路線番号と行き先は、下記のとおりです。

304 Birken-Universität 行き、終点は Mensa。逆向きはバスセンター (ZOH) 行き
306 Campus 行き、終点は Geowissenschaften。逆向きは ZOH 経由 Roter Hügel 行き

316 Campus 行き、終点は Geowissenschaften。逆向きはバイロイト中央駅 (Hbf) 行き

326 Campus 行き、終点は Geowissenschaften。逆向きは ZOH 行き

いずれも BGI 最寄りのバス停である Uni-Verwaltung に停車します。

片道 60 分券は 2 ユーロ。ZOH などで乗り換える場合、ドライバーに券を見せる。

一日に複数回乗る場合は、一日券(4.5ユーロ)がお得。この券は、土曜日に購入すると日曜も使えます。ただし、券面にブロック体で氏名を記入する必要がありますので注意してください。

チケットは、ZOHにある券売機やバスドライバーから購入できます。

駅前などのホテルに滞在してBGIにバスで通う場合、長期滞在するなら7日券や31日券が便利でお得です。ZOHの券売機を使えばクレジットカードで購入できます。

Mensa 近くのバス停からFlixbusを利用することが出来ます。

<https://global.flixbus.com/>

大学からはフランクフルト方面のみで本数も限られていますが、Hbf 近くのバス停からは多くのバスが出ています。

<ニュルンベルク空港駅からパイロイト中央駅までのチケットの買い方からパイロイトでの生活まで(川添さんのHP)>

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/kawazoe/html/Supervision5-2.html>

<BGI 事情>

- 平日なら朝、昼、晩とも学食(Mensa、メンザ)を利用できますが、セクション毎に開いている時間帯が違いますので注意してください。朝はカフェのみ、夜はFrischraumのみが開いています。なお、Frischraumは土曜の昼も営業しています。
- Mensaの料金は三段階です。安い順に学生向け、スタッフ向け、ゲスト向けになっており、かなり価格差があります。
- Mensaを利用するには、券売機でゲスト用のプリペイドカードを購入してください。なお、購入時に4ユーロのデポジットがかかります。このカードはBGI入り口付近にあるコーヒーマシンの自販機でも使用できます。
- ペットボトルの飲料など、バーコードの付いたものをMensaで購入する際には、レジのところでバーコードリーダーに自分で読み取らせてください。
- ホワイエの隣にキッチンがあり、ミネラルウォーター、ジュース、ビールがストックされています。価格表が貼ってありますので、冷蔵庫の上に置いてある缶にお金を入れてください。飲み終わったら、瓶を返却してください。
- 金曜の午後になると、特にBGIのドイツ人スタッフは帰宅してしまいます。これは、契約労働時間が週あたり4日半だからです。金曜日に用事がある場合は午前中に済ませましょう。

- 滞在期間中に誕生日を迎える場合、ケーキなどを自分で買って持っていきましょう（たぶん勝手が分からないと思うので、予め誰かに聞いた方が無難）
- BGIの人たちと仲良くなりたい場合、お茶の時間にはホワイエに行って会話に混ざり、夕方にはホワイエに行って（ビールを飲みながら）会話しましょう。そのまま夕食に誘われたら、連れて行ってもらいましょう。多くの場合、お店では自分が飲食した分を支払う（割り勘ではない）ので、たとえ酔ったとしても何を注文したのかは覚えておきましょう。
- BGIの人たち、特にドイツ人技術者などのスタッフは朝早くから出勤します。皆さんも（朝は辛いでしょうが）早めに行きましょう。
- 講演の終了時には、拍手の代わりに机を拳でコンコンと叩きます。ドイツの慣習ですが、皆さんは普通に拍手する方が良いでしょう。
- 質問やコメントがあり挙手するときは、片手をピンと伸ばさないようにしましょう。ナチスの敬礼を連想させるため街中でこのように手を挙げると逮捕されます。代わりに人差し指だけを立てて軽く肘も曲げながら挙手するのが良いでしょう。

<フンボルトゲストハウス事情>

- フンボルトハウスの方は英語の通じる夫婦がお世話してくれます。生活面についてわからないことがあったら何でも教えてください。
- 部屋はキッチン・トイレ・バス付です。タオルや食器、トイレトペーパーもありますが、調理器具は部屋ごとに異なります。
- 週一でお掃除してくれます。タオルは新しくなり、トイレトペーパーも補填されます。
- 部屋の中にゲストハウスの簡単な生活法がまとめてあるファイルが置いてあるので、ごみの出し方・周辺地図・最寄りのバス停の時刻表など参考にしてください。少しでもわからなかったらおばちゃんに聞いた方がいいでしょう。
- ゲストハウスにゴミ置き場があります。生ゴミ（ビニール袋には入れず、中身だけ容器に入れること）、紙類（汚れているものは不可）、一般ゴミの3種類の容器があります。瓶や缶は、スーパーEdekaの向かいにあるゴミ置き場まで持って行ってください。なお、瓶は色ごとに分別です。
- 二軒隣に小さなスーパー(Edeka)があります。平日は朝7時から夜7時までで、土曜日は夕方4時までです。夜や日曜は閉まっているので平日朝か土曜に買い物することをおすすめします。日曜の朝はパン屋さんのみ営業します。

- Edeka の裏にレストラン(Birken Gaststätte)があります。遠くのレストランまで歩きたくない時に便利です。
- 街の中心に向かって 10 分くらい歩くと、Edeka より大きなスーパー（レーベ）と薬局と郵便局があります。スーパーは夜 8 時までで同様に日曜休みです。
- メンザも日曜は休みです。週末は街に行けばレストランが開いています。
- ゲストハウスの支払いは基本現金か振込で、クレジットカードは使えないので注意してください。
- 玄関の鍵の開け方が特殊。鍵を入れてある一定まで回すと何となく回転が止まる位置がありますが、それで開けようとしても開きません。もう少し力を込めてカギが斜めの角度になるまで回して、止まったところでそのままドアを引きます。
- 遅くとも BGI に行く前の月くらいまでに、秘書さんに滞在期間と受け入れ教員を連絡する。時期によっては利用者が多いので、確実に部屋を予約したいなら半年前までに連絡するのが理想です。
- BGI についたらまず秘書さんに BGI の鍵を借りて滞在する部屋を聞く。この時、誓約書にサインする。受け取る鍵はマスターキーで、BGI の入り口その他、全ての実験室の扉を開けることができます。絶対になくさないこと。もしも鍵を渡されなかった場合、秘書さんにお問い合わせすれば用意してくれます。
- 地下に洗濯室があります。洗濯機・乾燥機はコイン式です。コインを多めに用意すると良いでしょう。アイロンとアイロン台もあります。
- 洗濯物の部屋干しは禁止されています。カビの発生を防ぐのが目的です。ゲストハウス職員に見つかった場合、BGI に連絡が行き、秘書さんから注意を受けることになります。

<赤十字ゲストハウス>

* 情報をお待ちしております

<Apart-Hotel FirstBoarding Bayreuth>

- フンボルトハウスが予約できないときに、BGI から第 2 候補として勧められるホテルです。
- 調理器具があり、自炊できます。朝食は出ません。
- 地下（駐車場のフロア）に洗濯場があります。
- 近くにベーカリー、肉屋、ドラッグストア(dm)、スーパー(Lidl)、ガソリンスタンド(Esso)があります。

- 夜間はフロントの人が居なくなります。到着が遅くなる場合は、予め連絡しておく方が良いでしょう。また、早朝出発する場合は、前日までに支払いを済ませておく必要があります。

<街事情>

- 買い物など、移動には自転車があるととても便利です。長期間滞在する人は自転車屋さんで中古品を購入するのも良いでしょう。
- チップ支払いの都合を考えると、レストランでの支払いは現金のほうが便利です。かつ1ユーロ硬貨, 2ユーロ硬貨を常に持っているとう便利です（無駄に余計に払わずに済む）。
- チップは「切りの良い金額にする」という感覚でよいでしょう。例えば19ユーロ分の食事をしたなら、20ユーロ支払っても問題ありません。大きなお札しか持っていない場合は、「〇〇（支払いたい額）Bitte」と言って渡しましょう。チップを払わなくとも構いません。
- どうしても肉料理に偏るので、サラダ（「ザラートテラー」色々盛ってあるのでこれだけで程よく腹がふくれる）を適宜食べると良いでしょう
- 多少の体調不良は薬局に行ってお姉さんに相談すればとどうにかなります。
- 駅で困ったことがあったら駅員さんを捕まえる。窓口の人は英語がペラペラで親切です。
- Eingangが入口、Ausgangが出口です。スーパーマーケットは出入り口が分かれていることも多々あるので覚えておくとよい
- 若い人は英語ペラペラのことが多いようです。大きめの駅ではお兄さんに絡まれることがあるので注意してください。おじさんおばさんはドイツ語しかしゃべれないことが多いが親切です。
- クレジットは時々使えない場合があるので、注意が必要です。ゲストハウス近くのスーパーEdekaでは使えません。他のスーパーでは概ね使えます。町中のお店では基本OK。
- バイロイトは平和っぽいのでよほどのことがないかぎり現金は奪われなそうです。もちろん日本よりは注意が必要と思いますが。
- 土曜の午後から徐々に店は閉まり始め、日曜には開きません。週末の食料などは土曜の夕方までに調達を済ませるとよいでしょう。
- ガソリンスタンドには売店が併設されていることが多く、スタンドが開いていれば夜間や週末でも食料品や日用品を購入できます。ただし、スーパーよりは少し割高です。
- レジ袋は有料なので、買い物袋を用意するのが良いでしょう。

- お店の中で自分の買い物袋に商品を入れ（見た目は万引き）、レジのところで袋から出して会計する現地の人をよく見かけますが、皆さんは真似をしない方がよいと思います。
- ゲストハウスには調理器具などが揃っています。飲食店の食事は課税対象なので、自炊が経済的です。
- 自炊せずに比較的安く済ませるなら、立ち食いのお店（インビス）が良いでしょう。アジア系やトルコ系のお店があります。
- クレジットカードの裏面にある Plus とか Cirrus のマークが ATM にあれば、そのカードで現金が引き出せます。現金が必要になった場合は、クレジットカードを使って ATM でキャッシングすると良いでしょう。金額にも依りますが、日本で円をユーロに換金するよりも割安です。ただし、自分のクレジットカードが海外キャッシングに対応しているかどうかを予め確認しておきましょう。また、限度額の確認も忘れずに。学生専用カードの場合はキャッシング非対応の場合が多く、また対応していても限度額が5万円くらいの場合があります。
- ユーロの現金を全く持たずに現地入りするのは勧めません。少しでも良いので用意しましょう。
- クレジットカードで買い物をしたければ、店の入口などでカードのマークを確認しましょう。レジがカード対応のように見えても、「ECカードのみ使用可」という店もあります。
- オートロックのドアが多いので、気を付けましょう。
- ドアのキーは2回回し（二重ロック）のところがあります。キーを1回回して開かなかったら、もう一回追加で回しましょう。
- 鍵穴がドアノブの下に位置している（日米とは逆）ため、逆方向に鍵を回す必要があります。
- 券売機でニュルンベルクーパイロイト間の鉄道券を買う場合はニュルンベルク空港から（まで）のU2まで含んだチケットを購入する。わからない場合は窓口で頼む。値段は12.30ユーロ
- バイエルンチケット（バイエルン地方の交通機関一日フリーパス）は少し遠出をしたいときに便利。
- 外出時はパスポートの携帯義務があります
- <BGI 事情> 欄にも触れられていますが、肘や指先をピンと伸ばして片手をあげる行為はナチスの敬礼を連想させるため、街中でやると逮捕されます。タクシーを停めたり友人に挨拶をするときは人差し指だけを立てて手を挙げたり、軽く肘を曲げて手の力を抜いて挨拶するのが良いでしょう
- レディファーストを徹底してください

- ドアの通過時に後ろに人がいたらドアを支えて待ってあげましょう、ちょっとしたことですがこれをやらないとかなり無礼に映ります。洋服店、お菓子屋、パン屋、肉屋、お土産屋など小さな店に入るときは店員に聞こえるように“Hallo!”, もしくは” Glüß Gott!“と挨拶をしましょう。無言で入店すると不信感を与えます。ちなみに南ドイツでは“Guten Tag!“は通じると思いますが、使う人は殆どいません。
- 最低限、Danke（ダンケ）「ありがとう」とBitte（ビテ）「どういたしまして」は覚えておきましょう。また、相手の話が分からない場合、Bitte? と語尾を上げると、「もう一度言ってくれますか?」という意味になります。どうしてもドイツ語を聞き取れない場合は、Englisch Bitte（エングリッシュ ビテ）と伝えてください。大抵の人は単語なら話せます。
- ペットボトルには、リサイクル対象のものがあり、販売時に料金が上乗せされています。ラベルのマークを確認してください。お店によっては、中身のみの料金を書いてある場合があるので注意してください。スーパーEdekaの場合、返却場所は奥の肉売り場です。他のスーパー（Rewe、Lidl、Norma など）には、自動の返却機があります。現金ではなく、お店の割引券が出てきます。

<その他>

- 常備薬を忘れず持参してください。
- キャンパスの傍には薬局がありますが、詳しい英語での対応は不可、BGIの学生に通訳をお願いすると良いでしょう。
- 具合が悪いときには、救急を受け付ける病院もあるので BGI 日本人スタッフに聞くとよい。
- 旅行保険に加入することを勧めます。

*** 本当に困ったら、BGI の日本人スタッフを頼ってください。**